

下水道耐震2025指針(管本体-近似法)

土木・建築設計計算 SUCCES

下水道耐震2025指針対応

公益社団法人 日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説 2025年版」および「下水道施設耐震計算例」(2015年版)に準拠し、新設および既設の差込継手構造の円形管きょうの管本体(鉛直断面)の剛性管・可とう性管において、レベル1地震動、レベル2地震動の耐震照査を近似計算法により行います。

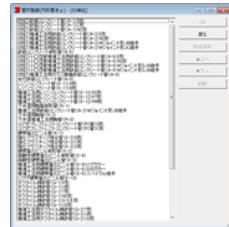
製品特長

プログラムの詳細

■埋設状況、土質条件等の簡単な入力で耐震計算が可能です。



■管材は予め登録されており、簡単に編集・登録が可能です。また、登録管材以外のデータを任意に入力して計算することも可能です。



■複数データの計算結果を一覧表示が可能です。

システムの適応範囲

▶鉛直土圧

[直土圧] [テルツァギーの緩み土圧] から選択できます。
「テルツァギーの緩み土圧」選択時には [テールボイド] [緩み高さの下限値] の考慮が可能です。

▶荷重ケース

[常時] [地震時増分] [地震時 = 常時 + 地震時増分] から選択できます。

▶登録管材

- ・剛性管
鉄筋コンクリート管A-1 B形、C形、NC形
推進工法用鉄筋コンクリート管A-2
小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管A-6
- ・可とう性管
強化プラスチック複合管(K-2)B形,C形,D形
登録管材のデータ編集機能
管材データの編集が可能

▶計算角度

24、36、72、180、360分割に設定できます。

▶地盤振幅の計算位置

[地表面] [管中心] から選択できます。

▶動的ポアソン比

[計算] [直接指定] から選択できます。

▶表層のせん断弾性波速度

[N値による計算] [実測値] から選択できます。

▶設計応答速度

速度応答スペクトルから求める他、任意入力も可能です。

▶固有周期

算出時の係数を任意に変更できます。

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11

※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

ハードディスク

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ディスプレイ

1280×1024以上が表示可能なもの